



〔管理者・保全団体〕 新田自治会

ポイント

環境省の「平成の名水百選」に選ばれた庄内町を流れる立谷沢川の流域にある湧水。虚空蔵岳の裾より湧き出る水を新田地区まで引いている。湧水は一年を通して尽きることが無く、以前は生活用水として利用されており、欠かすことのできない水であった。現在も水場では、農作業等の休憩時にのどを潤したり、涼を取る姿が見受けられる。

現在は6戸の集落である新田地区は、昔「市郎右衛門」という人物が鶴岡市から移住し、ここを開拓したことからその名前をとって「市郎右衛門新田」となった。湧水は、東北電力が立谷沢川第一発電所の社宅の水道に利用するために、虚空蔵岳の裾から昭和30年頃から引水し、その後、新田自治会で譲り受けた。



アクセス

(北緯38.667889°、東経140.002250°)

国道47号から県道45号を南下する。立谷沢郵便局を通過し、そこから3km程進むと県道344号と分岐する。その県道344号をさらに2km程進むと新田地区の標識がある。そこを左折して立谷沢川を渡り、道なりに進むと水場がある。

